

介護職員等特定処遇改善加算にかかるとの情報公開

見える化要件に基づき、介護職員等特定処遇改善加算の取得状況を報告し、賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を下記に掲示致します。

【加算取得状況】

- ・介護職員処遇改善加算 I
- ・介護職員等特定処遇改善加算 I

【賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容】

区分	内容	法人の取り組み
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人の経営理念、基本方針を掲げ、自社ホームページへの掲載、パンフレットを作成し広報活動に取り組んでいる。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	経験者、年齢にこだわらず求人を行っており、短時間勤務の要望も考慮して採用に取り組んでいる。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	地域に向けて介護教室（地域の介護を考える会）、ふれあいコンサートの開催や、中学生・高校生の職場体験、介護実習生の受入れを行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとするものに対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	認知実務者研修、認知症リーダー研修、キャリアパス研修等の受講支援を行っている。
	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	プリセプター制度を整備し、職員の支援を行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	短時間正規職員制度、正規職員登用制度を整備し、職員の状況に応じた働き方を推進している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	年次有給休暇の取得目標を掲げ、取得促進を図っている。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	こころとからだの健康相談室（事業場内）、こころとからだのホットライン（事業場外）を設置し、健康管理等に取り組んでいる。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	スライドボード・ムーブボードの整備、腰痛予防対策研修を実施している。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務労働者にも定期健康診断・ストレスチェックの実施。職員休憩室の確保を行っている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	車両事故の対応手順を整備している。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	電子カルテシステム、タブレット端末、センサーを導入し、業務量の縮減に取り組んでいる。
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備	業者や職員による定期的な清掃や定数を定めた物品管理を行い環境整備に努めている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	業務手順書を整備し、記録様式も統一して作業負担の軽減を図っている。
やりがい・働らきがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定期的な多職種による職場会議や介護職の管理職会を実施し、ケア内容など業務改善を図っている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	介護保険の法令遵守等の研修会の実施。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの誠意等の情報を共有する機会の提供	利用者やその家族からの意見・お礼を職員へ回覧し、情報の共有を図っている。